



第17回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

平素は当院の診療業務にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。

2022年8月25日に第17回となります、地域連携セミナーを開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で講演させていただきました。参加いただきました皆様にはこの場をお借りし感謝申し上げます。

講演前には、アボットジャパン合同会社様より「医薬品経腸栄養剤の特長と経口的栄養補助の活用について」のご紹介がありました。

今回は、以下のテーマで症例報告を致しました。

<テーマ>

『慢性呼吸不全患者の在宅療養について』

ケアマネージャーを始め、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの介入があった症例で、終末期における患者や家族の気持ちの変化について振り返り、発表を行いました。

<セミナー演者>

北坂戸ファミリークリニック
北坂戸訪問看護ステーション

院長 野口 哲
看護師 武山 千加 様
理学療法士 浦川 奈央 様
ケアマネージャー 山本 京子 様

彩西ケアプランセンター鳩山

セミナーでは、院長より患者の経過報告、看護師・理学療法士・ケアマネージャーより多職種の見点からみた患者、家族との関わりについてお話いただきました。多職種と関わる事で多くの良かった点や反省点などがあがりました。

～講演を終えて～

《北坂戸訪問看護ステーションたんぽぽ 看護師 武山千加様》

呼吸器疾患の患者様は、苦しく辛いことが多く、ご家族も不安の日々の介護となります。

今回お話しさせていただいた症例は、患者様の希望されていた自宅で最期まで過ごしたいという意思を尊重できるよう、不安が強いご家族に寄り添って多職種が連携・サポートし最後まで家で過ごすことができました。

今後もこの症例のように、多職種連携を図っていけたらと思います。

《北坂戸訪問看護ステーション 理学療法士 浦川奈央様》

今回のセミナーを通し終末期の呼吸器疾患患者様に対するリハビリについて見直すきっかけとなりました。また、それぞれの職種の発表を聞き、改めて多職種連携の大切さを実感することが出来ました。ありがとうございました。

《彩西ケアプランセンター鳩山 ケアマネージャー 山本京子様》

地域連携セミナーに参加させて頂きありがとうございました。

非ガン性の慢性呼吸器患者の終末期の捉え方が難しいと感じました。

ケアマネージャーとしても、主治医の先生、訪問看護師さん、サービス事業所との連携が大切だと思いました。今回、1事例のかかわり当初から看取りまで担当し、本人、家族の変化にその都度寄り添うことの大切さを感じました。

ありがとうございました。

《北坂戸ファミリークリニック 院長 野口哲》

この度は当院の『第17回地域連携セミナー』をご視聴いただきありがとうございました。今回の症例は介入当初より非がん呼吸器疾患の終末期の状態でありましたので、最期まで自宅療養を継続するためには、医療・介護を共有できる医療従事者・介護支援専門員との連携が重要でありました。具体的には、①日頃から訪問看護ステーションとカンファレンスを行い、情報共有や方針の確認ができたこと、②状態悪化時に介護支援専門員とも情報共有や方針について共有できたこと、などがあげられると思います。そのような多職種協働を行うことができたことが、ご本人やご家族の思いに寄り添い、ご本人の希望であった『最期まで家で過ごす』ことができたのだと思います。『最期にお風呂に入りたいといった』最終末期の状態である患者様へ入浴のサービスを行えたことに、それはあらわれていると思います。今後も患者・家族の目線に立って、多職種と協力して、『在宅緩和ケア』をすすめていきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

次回の地域連携セミナーは2022年12月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。次回の参加も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812